

# 第1 平成18年度予算編成について

## 1 経済状況及び雇用情勢について

我が国の経済状況は、企業収益が改善し、設備投資も増加しているなど、景気が緩やかに回復しており、大局的にみて、回復局面にあるという基調に変化はないと判断される。

先行きについては、国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれるものの、原油価格の動向が内外経済に与える影響等には、留意する必要がある。

一方、この地域の経済動向は、総合的にみて、引き続き回復している。

消費は底固い動きとなっており、生産活動も輸送用機械や電気機械等を中心に増加している。また、雇用情勢も、こうした動向を受けて改善している。

さらに、先行きについては、引き続き海外経済の動向及び原材料価格上昇の影響などを注視していく必要がある。

## 2 財政状況の見通し

このような経済状況の中での、平成18年度の県税収入の見通しは、企業収益の改善を反映して昨年度に引き続き、法人二税で増収が見込まれることや、定率減税の縮減を始めとする税制改正の影響により個人県民税の増収が見込まれるなど、県税全体では当初予算ベースで3年連続の増収が見込まれる一方、地方交付税は、地方歳出の厳しい抑制や税収の増加を反映し、大幅減となっている。

また、昨年度に引き続き、平成17年度も減債基金からの繰入運用の取りやめが一部にとどまるとともに、平成18年度当初予算においても、減債基金を始めとする基金からの繰入運用を行わなければならないなど、引き続き厳しい状況が続いている。

一方、行財政改革の取組は着実に進んでいるものの、義務的経費である介護・医療費を始めとする扶助費や公債費が確実に増加するほか、治安、地震・防災対策や新たな地域づ

くりにつながる行政需要に係る経費が見込まれることから、本県財政を取り巻く環境は、依然として厳しい。

### 3 予算編成の基本的考え方

このため、平成18年度の予算編成にあたっては、財源の積極的な確保は勿論のこと、歳出の抑制に努め、不要不急の経費の徹底した見直しや「あいち行革大綱2005」による合理化を積極的に進め、一層の飛躍を目指すための道筋、新たな仕組みづくりに取り組むこととした。

その一方、真に必要な分野への重点化をこれまで以上に厳しく進め、限られた財源を可能な限り重点的かつ効率的に配分することを基本に、安心安全を確保し、次の時代に向けた挑戦と位置づけ、以下の施策を重点に予算編成を行った。

- (1) 安心安全の確保と住みよい社会づくり
- (2) 生き生きと暮らせる健康・福祉社会づくり
- (3) 教育の新生と社会に役立つ人づくり
- (4) 戦略的展開と力強い産業県づくり
- (5) 豊かで快適な暮らしを創出する循環型社会づくり
- (6) 文化の創造と国際交流大都市圏づくり
- (7) 明日につながる県土づくり
- (8) 改革・分権・協働の県政づくり